

8ごみ質改善について

日頃は市民の皆さまにごみの減量、分別に取り組んでいただき、ありがとうございます。
今後も、合理的な処理が出来るよう皆様方にごみ質改善のご協力をお願い申し上げます。



なぜ？なぜ？ 問答



●もやすごみについて

① 水切りをしないといけないのですか？

収集時に汚水がこぼれて困ります。

●収集したごみを焼却しますが、現在、ごみの水分が約50%と非常に多くなっています。



※水切りの方法

①直接ポリ袋に放り込んではいけません。

一旦‘水切りざる’に入れて水滴が落ちなくなるまで充分‘水切り’を行ってください。

水切り後は、新聞紙などを利用して包み込み、ポリ袋に入れましょう。

②果物の皮などは、一晩おいてからポリ袋に入れましょう。スイカの皮はそのまま入れるとひどい状態になりますが、皮に包丁で切り目を幾筋も入れ、一晩たちますと重さが半分くらいになり効果的です。

② ごみ袋の口は結ぶのですか？

- （1）収集車に積み込む際に中身がこぼれ、作業が困難になります。また、集積所が汚れてしまいます。
（2）野犬などによる被害を少なくできます。
（3）悪臭による付近の人々の迷惑を少なくできます。
（4）雨水が入らないため、ごみ質が良く保たれます。



※ 指定袋の口には、ミシン目を作りヒモを使わなくても結べるように作ってあります。

③ もやすごみの中に燃えないごみ（缶、ビン）が混ざるといけないのですか？

●缶やビンは資源ごみですのでリサイクルしなければなりません。

●焼却炉が傷みます。

・炉の中は耐火レンガや、耐火構造物（キャスト）で出来ていますが、コンクリートなどに比べ柔らかい為に缶類などにより、こすられて内壁が傷みます。

●取り出す作業が必要となり、非常に危険です。

・そのままにしておくと、缶や金物の山ができてしまい焼却灰の排出装置の故障にもなりますので、点検口から取り出しますが、炉内が高温になっているために非常に危険です。

・スプレー缶が入っていると爆発し非常に危険です。実際に作業中に火傷をした例もあります。絶対に入れないでください。

●ガラス類が混ざっていると、熱のために溶けて大きな固まりになってしまい、焼却出来なくなってしまいます。

●焼却灰に混ざると、最終処分にも悪影響が出ます。



●資源ごみについて

①なぜ ペットボトルのキャップやラベルは同じプラスチックなのに取り除かなければならないのですか？

！それは ペットボトルの本体とキャップ・ラベルは材質が違います。

本体は……………  PET

キャップ・ラベル……………  に分別して下さい。



汚れたままではダメ！

「洗う（中の汚れを落とす）」

「取る（材料別に分ける）」

「つぶす（運びやすく）」 がポイント。

※つぶした後、底を折り曲げると元に戻りにくくなります。

②なぜ ビン類は、栓やフタで材質の違うものは、取り外さなければいけないのですか？

！それは (1) ビン類は、ガラスとして再利用していますが、他の不純物が入っていると良いガラスが出来ないため、業者に引き取ってもらえません。特にセトモノ類が入っていると選別することが出来ないので充分注意してください。

③なぜ 缶類やビン類は、中身を取り出さないといけないのですか？

！それは (1) 缶類はプレス作業時の時、内容物が流れ出し、作業場が非常に汚れてしまい、水で洗ってもなかなか落ちなくて困っています。
(2) ビン類は選別したカレット（ガラス屑）にする時、中身が流れ出て、作業場やガラスが汚れて困ります。

④なぜ セトモノ専用袋を使用しないといけないのですか？

！それは (1) セトモノは再利用出来ませんので埋め立て処理をしていますが、ビンとセトモノは完全に分けなければならない、区別を認識していただくために専用袋を設けています。
(2) セトモノ専用袋のサイズは、資源ごみ専用袋に比べて小さくしています。（比較的、量が少ないため）
(3) ガラス製の灰皿等は、セトモノ類として出してください。

⑤なぜ 農薬ビンは、同じガラスなのに普通の空ビンと一緒に出してはいけないのですか？

！それは (1) ごみ処理場周辺の環境汚染の予防ということで農薬ビンは取り扱いをしないようになっています。理由は、農薬ビンは空ビンでも農薬が残っていて二次公害の恐れがあるからです。

⑥なぜ 蛍光灯、電球、鏡は同じガラスなのにセトモノ類へ入れるのですか？

！それは (1) ビン類はガラスとして再利用できます。蛍光灯、電球、鏡や人造真珠の球は同じガラスでも不純物を含んでいます。そのため、ビン類とは別の方法でリサイクルするので分別が必要です。



⑦ なぜ

白色トレイと色柄トレイは材質が同じなのに別々の袋に入れなければならないのですか？

！ それは

(1) 白色トレイは白色の再生品にリサイクルしますので、色物が混ざると再生できないからです。白色トレイは表裏とも白色のものだけ。色柄トレイで ♻️ マークのついているものは、プラスチック製容器包装類へ分別してください。マークのないものは、もやすごみに分別してください。

⑧ なぜ

プラスチック製容器包装類のサーマルリサイクルとは？

！ それは

サーマルリサイクルは、埋立ごみ、環境負荷の低減並びにエネルギー消費を抑えるための手法の一つです。プラスチック製容器包装類（プラマークのあるもの）を燃料として利用し、熱回収（熱エネルギー）として利用することを目的としており、化石燃料の削減など経費削減に有効な手法の一つです。なお、燃料として使用する場合は、容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律第2条第8項及び同法施行令第1条第2項に規定されており、分別基準適合物を自ら圧縮又は破砕により均質にし、かつ、一定の形状にすることが義務付けされており、当施設でもこの規定に基づき燃料として利用します。

プラスチックリサイクルの手法は、長年の技術開発によって著しく進歩し、今ではさまざまな手法が実用化されています。大きく分けて次の3つの手法があります。

○サーマルリサイクル

廃プラスチックを焼却して熱エネルギーを回収したり、固形燃料にしたりする手法です。熱回収、エネルギー回収とも呼ばれています。

- ・固形燃料化 << RDF、RPF >>、
- ・セメントキルン原燃料化 <<セメント製造時の原燃料>>
- ・廃棄物発電、熱利用焼却など

※種類の異なるプラスチックが含まれる複合素材が適しています。

○マテリアルリサイクル

廃プラスチックをプラスチック原料としてプラスチック製品に再生する手法です。「材料リサイクル」ともいいます。

- ・プラ製品化 <<作業服、ユニホーム、シャツ、トレイ、コンテナ、ベンチなど>>

※ペットボトル、白色トレイのように単一素材で、食品などの汚れのついていないものが適しています。

○ケミカルリサイクル

廃プラスチックを科学的に分解するなどして、化学原料に再生する手法です。

- ・原料・モノマー化 <<ボトル to ボトル>>
- ・高炉原料化 <<製鉄所で使う還元剤>>
- ・コークス炉化学原料化 <<コークス、炭化水素油、コークス炉ガス>>
- ・ガス化 <<水素、メタノール、アンモニア、酢酸などの化学工場原料、燃料>>
- ・油化 <<生成油、燃料>>

※ガス化・油化については、燃料として再利用する場合はサーマルリサイクルということもできます。

※種類の異なるプラスチックが含まれる複合素材が適しています。